

四季
だより

ご
さん
だ

冬号

2022
VOL.20

Contents [目次]

- ・ 院内の感染対策の取組みについて 2P
- ・ 全館空調機の分解清掃について 2P
- ・ カタログギフトについて 3P
- ・ クリスマス・お正月行事食について 3P
- ・ 看護部だより 4P
- ・ 私の趣味について 5P
- ・ リハビリテーション科だより 5P
- ・ 栄養科通信 6P
- ・ 薬剤科通信 6P
- ・ 室内でできる運動について 7P
- ・ 医療連携室だより 8P
- ・ アクセス 8P

院内の感染対策の取組みについて

職員のワクチン接種実施について

みなさんこんにちは。感染対策委員会です。

当院では2021年11月15日～11月19日に職員のインフルエンザ予防接種をおこない、5日間で約9割以上の職員接種を無事終えることができました。

今年は新型コロナウイルスワクチン接種とインフルエンザワクチン接種の2種類の接種があり、事前準備や調整に時間を要しましたが、各部署の感染委員をはじめ、全職員の協力のもと大きなトラブルもなく実施することができました。

職員の新型コロナウイルスワクチンの第3回追加接種も全職員の協力で無事に完了することができました。今後も、全職員一丸となって、院内の感染対策に努めてまいります。

感染対策委員 土肥・八ッ代



日々がんばっている職員に、福利厚生サービスを実施しました。

今年度は新型コロナウイルスの影響で院内旅行が中止になったため、福利厚生としてカマチグループからカタログギフトの支給がありました。

カタログギフトの内容はおせちやお肉など豪華な特選グルメとなっています。

職員からは大変好評で、既に提供限定数を超え、注文の締め切られた商品もありました。私は日ごろ支えてくれている両親に小岩井農場のフリーチョイスカタログを贈りました。両親からは到着が待ち遠しいと連絡があり、私も楽しみに待っています。他にも仕事納めの日に、人気商品のラスクが全職員に配布されました。「ラスクの甘さに、日ごろの疲れが癒された」と職員からも大好評でした。今後も職員の英気を養えるよう、栄養注入を実施していきたいです。

総務課 吉岡

全館空調機の分解清掃について

11月～12月にかけて院内全ての空調機分解清掃を実施致しました。

空調機内部の汚れ等を解消することで、綺麗な空気が出るようになり、空調の効きもより良くなりました。

当院では感染対策の関係で、定期的に窓の開放による換気を実施しております。最近では、寒い日々が続いておりますが、ご入院中の患者様が少しでも快適に入院生活を送って頂けますよう、今後も病院として日々対応させて頂きたいと考えております。

総務課 緒方



クリスマス・お正月行事食について

クリスマス行事食

今年は、目黒川のイルミネーションが2年ぶりに点灯されましたね。当院でも、クリスマスに向けて、病棟内の飾りつけがいつも以上に華やかさを増しています。

本日昼食時は、クリスマス行事食をご用意しました。サラダに添えたドレッシングは、たまねぎ、セロリ、人参、トマト等、多くの野菜を使用した当院オリジナルのドレッシングです。すべて手作りで焼き上げたガトーショコラは、患者様に大変ご好評頂きました。



- 野菜のピラフ
- チキンオープンパン粉焼き
- フレッシュグリーンサラダ
- スペルト小麦と卵のコンソメ
- ガトーショコラクラシック

お正月行事食

12月31日～1月2日の3日間は、年末年始を当院で過ごされる患者様に少しでも新年の華やかな雰囲気を感じて頂きたいという心を込めて、さまざまなお食事をご用意いたしました。新年のカードには、坂本院長にご協力頂きました。



五反田リハビリテーション病院栄養科は、お食事を通して皆様のリハビリテーションのお手伝いができるよう、より安全でおいしく、季節の彩りあるお食事の提供を目指して、励んでいきたいと思っております。

栄養科 西田

看護部だより



Merry Christmas!

新型コロナウイルス感染予防対策の影響で、明かりが制限されて暗かった街に、イルミネーションの煌きがやっと戻ってきました。五反田リハビリテーション病院もクリスマスの飾りつけで華やかになっています。

各病棟、工夫を凝らしたツリー、手作りの壁飾り、クリスマスの小物をディスプレイしたカウンターなど、患者様が長い入院生活の中で、季節の行事の楽しさを感じていただけるよう、スタッフがこころをこめて飾りました。

今は面会も制限されているため、外部の方に観ていただけないのが残念ですが、来年こそは患者様、ご家族様、スタッフが一緒に、クリスマスを楽しむ世の中になってほしいと心から願っています。

看護部 桑田



My hobby

私の趣味について

～日本の伝統工芸「つまみ細工」～



今回は私の趣味をご紹介します。私の趣味は、つまみ細工を制作することです。

つまみ細工とは江戸時代から伝わる日本の伝統工芸で、布を正方形に切り取ってから折りたたみ、複数を組み合わせて、四季折々の花鳥風月を形作り、櫛や簪を華やかに彩る技法です。丸く優しい形の「丸つまみ」、細くとがった凜とした形の「剣つまみ」の二つの技法を応用し、布の種類や大きさ、色合いを工夫して作ります。

以前は教室に通ったり、動画、本を見て作っていましたが、コロナ渦の現在はオンラインレッスンに変更となっています。全国で教室を開いている先生が沢山いるので興味がありましたら一度「つまみ細工」で検索して見てみてください。色もきれいで技法の応用もあるので、とても楽しいですよ。

医事課 山崎

つまみ
細工

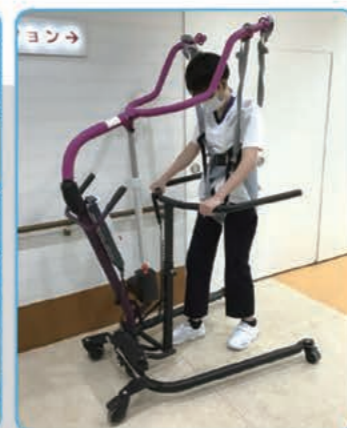
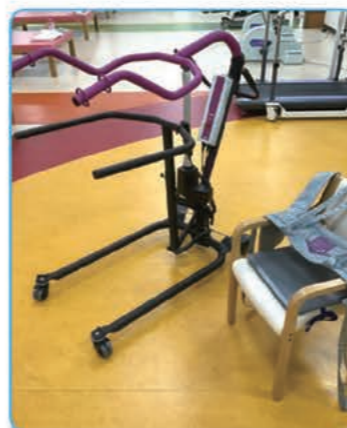


リハビリテーション科だより



オール・イン・ワンについて

当院に設置されているオール・イン・ワンについてご紹介します。オール・イン・ワンとは、免荷式歩行器のことで、自身の力で立つことが困難な方でも、安全に歩行訓練を行える歩行器のことです。バッテリー駆動の免荷式リフトにより、ワンタッチで免荷量を調整することができ、体型や運動レベルを問わずに広い範囲の患者様に適応可能となっています。当院では主に脳血管、整形疾患、廃用症候群の方のリハビリテーションを行っていますが、リハビリテーションの観点からみても、免荷により体重負荷量を軽減できること、歩行困難な状態であっても早期から歩行練習が行えること、反復して両足でのリズムカルなパターン化した運動が可能であることから、効率的な運動学習へ繋がる可能性があり、注目されています。



当院では様々なマシンや補助具を揃えていますが、見た目だけでは名称や用途がわからないものも多いと思います。些細なことでも気になることがあれば当院スタッフにお声かけください。

リハビリテーション科 高橋

🍴お食事と曜日感覚



毎日の繰り返しの中で、日付けや曜日感覚というのは何かをきっかけにして保たれていることが多いです。お食事の場において、『毎週金曜日にカレーライスを必ず用意』はどこかで聞く話です。用意する食事の曜日を固定することで、曜日感覚が保たれる効果もあるそうです。

当院においては現在水曜日のお昼に麺類をご用意しております。患者さまの状態やお食事の好みに合わせ異なる場合もありますが、院内に掲示されている献立表を目にして、『今度の水曜日は何の麺かしら』とおっしゃられる患者さま、そばつゆの香りで『今日は水曜日だったね』と気づかれる患者さま。ご様子は様々です。

院内に毎週イラストの異なる習慣献立表や暦、行事に合わせたお食事をご用意するの、少しの変化を感じていただけるものと考えております。1/2~1/8の献立表は梅と鶯のイラストでご教示いただくと幸いです。

栄養科 西田

日	月	水	木	金	土	日	祝
1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9
朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食



1/7は七草をつかった菜飯を



天ぷらそばは麺類の中でも特に好評

1/2~1/8の献立表は梅と鶯のイラストで

薬のマメ知識



今回は病院の薬と街の薬店で購入する薬の違いについて説明します。くすりには、薬店で買うことのできる「OTC医薬品」と、病院で処方される薬があります。OTC医薬品はいろいろな人たちが、様々な症状のときに使うため、安全性を重視してつくられています。

病院で処方される薬は、病院または薬局でもらえます。体を治すことを重視してつくられているため、診察を受けた人の症状や年齢、体質などで種類や量が決まります。処方薬は受診した人専用の薬ですので、自分に似た症状の人にあげたりすることはさげましょう。

薬剤科 大内

※OTC医薬品

Over The Counter Drug (オーバーザカウタードラッグ) の略で、薬店で「カウンター越しに買うことができる薬」という意味。医師の処方せんがなくても購入することができる一般用医薬品のこと。



室内でできる運動について

新型コロナウイルスの影響で外出する機会が少なくなり、運動不足による筋力低下を引き起こす可能性があります。そのため、今回も引き続き自宅でできる運動を紹介します。

開脚運動

必要な物

特別に用意するものではありませんが、転倒するリスクがあるため手すりや椅子に掴まって行いましょう。

運動メニュー

手順

- 1 壁際や掴まれる所に立ち、図1のように足を横に持ち上げて下ろす動作を繰り返します。
- 2 左右の足で10回ずつ行い、休憩を入れて2~3セット行いましょう。

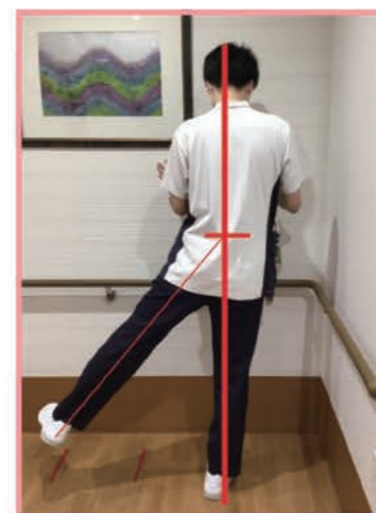


図1



図2

注意点

◆つま先が外側に向かないように正面に向けたまま真横に足が上がるように意識します。また、図2のように体が傾かないように注意しましょう。足の上がり具合は人それぞれ違うため、無理のない範囲で行いましょう。

リハビリテーション科 高橋



医療連携室だより

私たち医療連携室では、当院への入院相談から在宅・社会復帰の実現に向けて、各関係機関と密に連携をとり、患者様やご家族が抱えるご不安やお困りごとに対してよりよい解決への糸口を見出す支援をしています。

また、脳疾患治療後に復職を目指す方に、就労支援リハビリテーションプログラムを行っております。患者様を中心に、医師、看護師、薬剤師、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護補助者、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー(MSW)各職種が



チームとなり、復職に向けた社会資源の提案等のお手伝いをしています。

在宅・社会復帰に向けてのご不安、介護保険制度や障がい者福祉制度等の各種制度など、お気軽にご相談ください。

医療連携室 一同

医療連携室

医療連携室の受付時間
9:00~16:30 (月~土曜日)

入院相談 岡澤・三田・森本・澤田
 病棟担当 小又・石塚・黒木・松澤・田口・菊地・宮田・中村・香川
 ☎ 03-3779-8826 (直通)

四季だより

ごたんだ

冬号
2022 VOL. 20

令和4年2月

一般社団法人巨樹の会
五反田リハビリテーション病院

広報委員会
〒141-0031
東京都品川区西五反田8丁目8-20
TEL 03-3779-8820
FAX 03-3779-8823



- 五反田駅 (JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線) 徒歩8分
- 大崎駅 (JR山手線、埼京線、りんかい線) 徒歩12分
- 大崎広小路駅 (東急池上線) 徒歩3分